

台湾台中市の概要

〈市勢〉

- 台湾中部に位置し、面積 2,215 平方キロ、人口 282 万人(2020 年)。
- 農林水産業が主要産業だが、市街地では精密機械、情報通信などハイテク産業が集まる。

〈本県との交流状況〉

- 鳥取県と台中県(台中市との合併前)とは、これまで赤梨穂木の輸出等農業や震災復興面(2000年鳥取県西部地震)での交流を進めている。
- 2005年には、同県から子どもサマースクール団(生徒16名、8月)、台中県立文化中心国楽団(台湾伝統楽器、10月)を受け入れた。
- 2006年は日野高校荒神神楽団(1月)、智頭農林高校郷土芸能部団(麒麟獅子舞、3月)を台中県へ派遣し青少年交流を行った。以降、毎年媽祖祭(台湾で最大規模の祭)へ高校生芸能団を派遣。また、1月の知事訪台で両県首長が合意したところの子ども同士の交流を更に発展させるため、全県から参加者を募集したサマースクール団(中学生)を鳥取県から初めて台中県に派遣した。以降、毎年交互に青少年訪問団を派遣。
- 2007年3月には、三朝町と台中県石岡郷が交流促進協定を締結。
- 2010年2月、三徳山行者太鼓保存会えん太を台中県・市に派遣した。以降、毎年台中ランタンフェスティバルに芸能団を派遣。7月には、北栄町と台中県大肚郷が友好交流協定を締結。12月には台中県・市が合併し、新たな台中市が誕生。
- 2012年1月に台中市内百貨店で「まんが王国とっとりフェスタ」を開催。知事を団長に台中市長を表敬し、今後の交流継続を確認。
- 2015年3月、鳥取砂丘コナン空港と台中空港を結ぶチャーター便が運航。「台湾ランタンフェスティバルin台中」へ、鳥取県観光PRブースを出展し、名探偵コナンランタン(北栄町所有)を展示。
- 2016年7月、三朝中学校が台中市立石岡中学校と姉妹校交流協定を締結。10月には、台中市温泉観光協会が三朝温泉を訪問し、三朝温泉旅館協同組合と交流促進協定を締結。12月に台中市温泉観光協会が中部地震被害の応援のため三朝温泉を訪問。
- 2018年11月、知事が訪台し、台中市長と友好交流協定を締結。また、台中市内高級スーパーで鳥取県物産展を開催。台中フローラ世界博覧会(花博)に鳥取県ブースを出展し、鳥取県PRステージ等を実施。更に花博に合わせて鳥取-台中チャーター便を運航。
- 2023年8月、知事、三朝町、北栄町、琴浦町、日台親善協会が訪台し、台中市と友好交流協定締結5周年記念式典を開催。